

分娩監視装置による分娩事故低減

営農支援センター 訓子府実証農場 畜産技術課
TEL: 0157-47-2192
E-mail: kunnepu-chikusangijutu@hokuren.jp

モバイル牛温恵は、体温センサーを用いて牛の分娩監視を行うサービスであり、訓子府実証農場では分娩時の事故低減を目的として2018年7月に導入した。導入前後で勤務時間外の分娩割合に大きな差はなかったが、導入前後14ヶ月の死産頭数を比較すると、導入前13.3%から導入後3.1%に改善された。牛温恵導入後は段取り通報を参考に宿直者を配置することで、勤務時間外の分娩立ち合いがほぼ毎回可能となり、死産率の低下に繋がったことから、牛温恵は分娩事故低減に向けた一つのツールとして活用できると考えられた。

- ①段取り通報: 分娩約24時間前の体温変化を感知し、メールで知らせる機能
- ②駆付け通報: 一次破水時の温度センサー脱落による温度変化を感知し、メールで知らせる機能

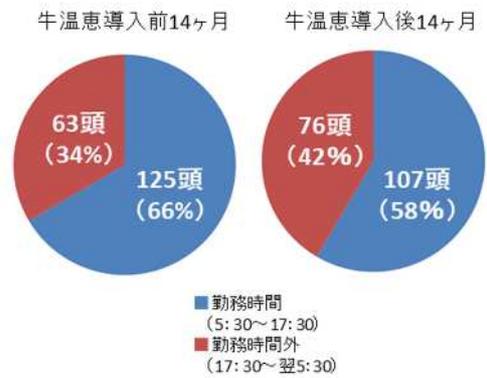


図1.牛温恵導入前後の分娩開始時刻

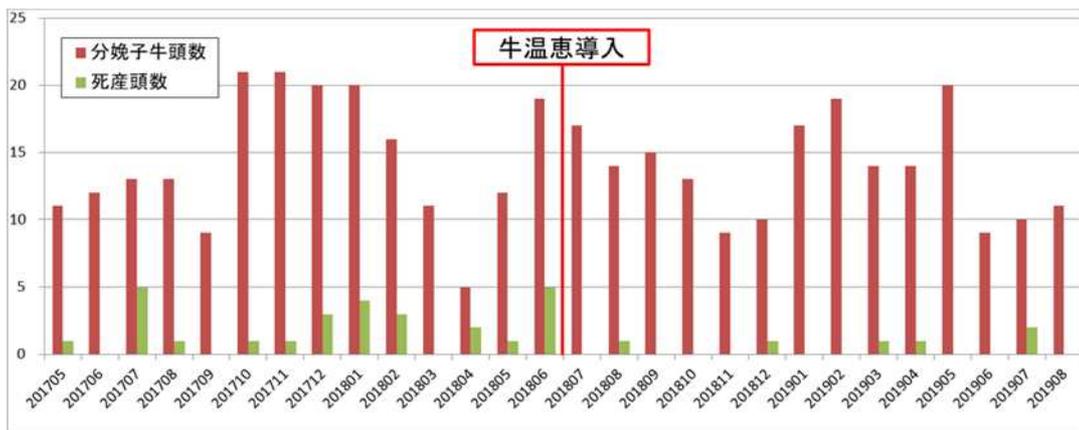


図2.各月の分娩子牛頭数と死産頭数(2017年5月~2019年8月)

表1.牛温恵導入前後(各14ヶ月)における分娩頭数と死産率

期間	分娩母牛頭数	分娩子牛頭数	死産頭数	死産率(%)
牛温恵導入前 2017年5月~2018年6月 (14ヶ月)	188	203	27	13.3
牛温恵導入後 2018年7月~2019年8月 (14ヶ月)	183	192	6	3.1